

2010年度上期の発受電速報

<発受電電力量>

1. 全国の概要

2010年度上期の発受電電力量は、今夏の記録的な猛暑の影響により冷房需要が増加したことに加え、産業用需要が前年実績を上回って推移したことなどから、10社計で4,963.5億kWh、前年同期比108.8%となった。

(主な内訳)

「水力」：出水率が前年同期値を上回ったことなどから、396.8億kWh、前年同期比119.0%となった。

「火力」：発受電電力量全体が増加したことなどから、2,376.9億kWh、前年同期比106.2%となった。

「原子力」：設備利用率が前年同期値を上回ったことから、1,374.3億kWh、前年同期比109.4%となった。

(参考 日本原電除きの設備利用率：当年度67.7%，前年度62.3%)

<出水率>

沖縄を除く9社計では106.2%となった。

2. 発受電電力量実績の概要(10社計)

(単位：千kWh，%)

	当 期		至近3期の対前年同期増加率			
	実 績	対前年同期増加率	2009年度下期	2009年度上期	2008年度下期	
発受電電力量	496,352,583	8.8	1.8	8.2	6.2	
発電内訳	水力	39,679,217	19.0	8.6	2.0	0.5
	火力	237,691,480	6.2	4.9	14.4	14.2
	原子力	137,427,981	9.4	12.0	3.2	6.6
	新エネルギー等	1,227,575	11.7	3.8	14.4	4.4
他社受電	86,209,494	13.2	4.5	9.4	1.6	
揚水動力	5,883,352	46.5	6.5	22.6	46.4	
出水率	106.2	(前年同期値) 89.4	105.1	89.4	94.2	
原子力設備利用率 (含む日本原電)	67.0	(前年同期値) 63.0	68.5	63.0	61.8	

注：電気関係報告規則等の一部を改正する省令により、2010年5月分より以下の変更を行っています。

- ・発電内訳に「新エネルギー等（風力、太陽光および地熱等）」の項目を新設
- ・地熱発電電力量を「火力発電」から「新エネルギー等」に区分変更
- ・「揚水動力」の項目を新設

なお、「火力」、「新エネルギー等」および「揚水動力」における対前年同期増加率は、当期および至近3期ともに、前年同期実績を変更後の区分にあわせて算定しています。

3. 発受電電力量の対前年同期増加率

(単位：%)

	2010年度	2009年度	2009年度	2008年度	2008年度	2007年度
	/上期	/下期	/上期	/下期	/上期	/下期
10社計	8.8	1.8	8.2	6.2	0.0	3.9

(注)：前年同期比マイナス

(参考)燃料実績：10社計(上期)

	石炭(t)	重油(kl)	原油(kl)	LNG(t)	ワサ(kl)
受入	24,919,132	3,230,229	2,402,189	21,570,182	0
消費	24,656,679	3,277,360	2,570,401	20,461,987	11,885